

# 2024年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

2023年8月4日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所

東

コード番号 9324

URL https://www.yasuda-soko.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荒川 昌幸

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日 2023年8月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,366	13.8	524	6.7	722	9.7	464	9.8
2023年3月期第1四半期	14,384	14.3	491	30.8	800	0.7	514	3.3

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 5,179百万円 (3,435.1%) 2023年3月期第1四半期 146百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円銭		円銭
2024年3月期第1四半期	16.02		
2023年3月期第1四半期	17.76		

### (2) 連結財政状態

(-) ~= max = x + x = x						
	総資産	純資産	自己資本比率			
	百万円	百万円	%			
2024年3月期第1四半期	174,605	82,138	46.8			
2023年3月期	166,005	77,372	46.4			

(参考)自己資本

2024年3月期第1四半期 81,773百万円

2023年3月期 76,994百万円

# 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計				
	円銭	円銭	円 銭	円銭	円 銭	
2023年3月期		12.50		13.50	26.00	
2024年3月期						
2024年3月期(予想)		13.50		13.50	27.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年 3月期の連結業績予想(2023年 4月 1日~2024年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主 当期純		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	11.5	1,100	10.5	1,500	30.3	1,000	29.0	34.53
通期	68,000	13.8	2,600	2.6	3,500	7.3	2,150	4.3	74.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	30,360,000 株	2023年3月期	30,360,000 株
2024年3月期1Q	1,396,002 株	2023年3月期	1,395,882 株
2024年3月期1Q	28,964,055 株	2023年3月期1Q	28,958,718 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧〈ださい。

# ○添付資料の目次

1.	当日	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	) 経営成績に関する説明	2
	(2)	) 財政状態に関する説明	2
	(3)	) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四 3	半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	)四半期連結貸借対照表	4
	(2)	) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間	8
	(3)	)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4)	)四半期連結財務諸表に関する注記事項	0
		(継続企業の前提に関する注記)	0
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ····· 1	0
		(セグメント情報等)	0

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に持ち直しや改善の動きがみられ、緩やかな回復が続くことが期待される一方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況が続いています。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きに回復の兆しは見られるものの、海上・航空運賃の下落、エネルギー・原材料価格高騰の影響や労働力不足への対応など予断を許さない状況であり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率は高い水準が続いており、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指してまいりました。物流事業においては、付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充により取引の拡大や物流施設の増強など事業基盤の強化を推し進め、また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じ、稼働率の維持・向上や保有不動産の再開発促進に努め、事業拡大を推進してきました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、物流事業、不動産事業とも堅調に推移し、営業収益は、前年同期比1,982百万円増(13.8%増)の16,366百万円、営業利益は、前年同期比33百万円増(6.7%増)の524百万円となりました。経常利益は、為替差益の減少により前年同期比77百万円減(9.7%減)の722百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比50百万円減(9.8%減)の464百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、海上運賃の下落により国際貨物取扱料が減少したものの、新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、倉庫・輸配送ネットワークの拡充などにより倉庫保管料、作業料、陸運料で増収となり、営業収益は前年同期比1,984百万円増(15.3%増)の14,968百万円、セグメント利益は前年同期比93百万円増(14.5%増)の739百万円となりました。

不動産事業では、営業収益は前年同期比8百万円減(0.6%減)の1,493百万円となりましたが、既存施設の稼働率向上により不動産賃貸料は堅調に推移し、セグメント利益は前年同期比15百万円増(3.3%増)の504百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の時価評価の増加と新規企業結合による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ8,600百万円増の174,605百万円となりました。

負債については、主に投資有価証券の時価評価増加に伴う繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,835百万円増の92,467百万円となりました。

純資産については、主にその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ4,765百万円増の82,138百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増の46.8%となりました。

なお、当社グループは長期借入金の調達にあたり、調達額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることが出来る劣後特約付ローンによる資金調達を行っており、同ローンの資本性を考慮した格付上の自己資本比率は53.3%となります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,500百万円減の12,600百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費の資金留保や税金等調整前四半期純利益の増加により、1,340百万円増(前年同期は1,123百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により、2,921百万円減(前年同期は1,109百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済や配当金の支払いにより、1,007百万円減(前年同期は1,093百万円減)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね計画通り推移しております。従って、連結業績予想については、2023年5月8日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更しておりません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位		<del></del>	_	Ш	\
(HM)	•	-	$\vdash$	ш	١

		(単位:日万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15, 139	12, 630
受取手形及び営業未収金	9, 586	10, 207
商品	3, 025	2, 765
その他	1,023	1, 321
貸倒引当金	△2	$\triangle 2$
流動資産合計	28, 771	26, 921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36, 867	37, 831
機械装置及び運搬具(純額)	2, 368	2, 473
工具、器具及び備品(純額)	906	895
土地	37, 036	38, 791
建設仮勘定	3, 054	3, 896
有形固定資産合計	80, 233	83, 888
無形固定資産		
のれん	4, 639	4, 797
借地権	1, 016	1,016
その他	2, 301	2, 248
無形固定資產合計	7, 957	8, 062
投資その他の資産		
投資有価証券	45, 666	52, 293
繰延税金資産	584	595
退職給付に係る資産	672	696
その他	2, 138	2, 166
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	49, 042	55, 733
固定資産合計	137, 233	147, 684
資産合計	166, 005	174, 605

	V-14/1 A -11/1-1-1	(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4, 721	5, 312
短期借入金	10, 320	10, 391
1年内償還予定の社債	62	62
1年内返済予定の長期借入金	2, 631	2,739
未払法人税等	534	210
未払費用	1, 692	1, 480
その他	2, 286	2, 214
流動負債合計	22, 249	22, 409
固定負債		
社債	10, 299	10, 275
長期借入金	35, 980	37, 299
繰延税金負債	12, 636	14, 952
退職給付に係る負債	2, 194	2, 191
長期預り敷金保証金	4, 081	4, 111
その他	1, 190	1, 226
固定負債合計	66, 383	70, 057
負債合計	88, 632	92, 467
純資産の部		,
株主資本		
資本金	3, 602	3, 602
資本剰余金	2, 814	2, 814
利益剰余金	41, 595	41, 666
自己株式	$\triangle 1, 175$	$\triangle 1, 175$
株主資本合計	46, 836	46, 907
その他の包括利益累計額		,
その他有価証券評価差額金	29, 430	34, 032
為替換算調整勘定	67	189
退職給付に係る調整累計額	660	643
その他の包括利益累計額合計	30, 157	34, 865
非支配株主持分	378	365
純資産合計	77, 372	82, 138
負債純資産合計	166, 005	174, 605

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

		(単位:日万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益		
保管料	2,074	2, 494
倉庫作業料	2, 130	2, 417
陸運料	5, 260	6, 464
国際貨物取扱料	2, 118	1,705
物流賃貸料	432	487
不動産賃貸料	1, 137	1, 200
その他	1, 230	1, 596
営業収益合計	14, 384	16, 366
営業原価	<u> </u>	,
作業費	5, 927	6, 579
人件費	3, 182	3, 375
賃借料	857	1,016
租税公課	286	320
減価償却費	823	920
その他	1,814	2, 300
営業原価合計	12, 892	14, 512
営業総利益	1,492	1,853
販売費及び一般管理費		_,
報酬及び給料手当	393	531
福利厚生費	67	82
退職給付費用	19	15
減価償却費	42	82
支払手数料	118	141
租税公課	34	39
その他	324	435
販売費及び一般管理費合計	1,001	1, 329
営業利益	491	524
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	260	275
為替差益	173	17
雑収入	29	68
営業外収益合計	463	362
営業外費用	100	502
支払利息	147	152
借入関連費用	7	7
雑支出	0	4
営業外費用合計	155	164
経常利益	800	722
N主 ITT 不可量E	800	122

		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	12	20
特別利益合計	12	20
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産廃棄損	20	2
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益	791	739
法人税、住民税及び事業税	177	198
法人税等調整額	86	77
法人税等合計	263	275
四半期純利益	527	464
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	514	464

# (四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(第1四半期連結累計期間)		
		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	527	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△555	4,602
為替換算調整勘定	187	129
退職給付に係る調整額	△12	△16
その他の包括利益合計	△381	4, 715
四半期包括利益	146	5, 179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122	5, 171
非支配株主に係る四半期包括利益	24	8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

		(平匹・日乃口)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	791	739
減価償却費	865	1,002
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	$\triangle 0$
退職給付に係る資産負債の増減額	△9	△50
受取利息及び受取配当金	△260	△276
支払利息	147	152
固定資産廃棄損	20	2
売上債権の増減額(△は増加)	43	△256
棚卸資産の増減額(△は増加)	186	260
仕入債務の増減額(△は減少)	△1	331
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	138	30
その他	△307	△194
小計	1, 614	1,740
利息及び配当金の受取額	260	275
利息の支払額	$\triangle 147$	△151
法人税等の支払額	△602	△524
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 123	1, 340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	$\triangle 0$	-
定期預金の払戻による収入	-	16
有形固定資産の取得による支出	△883	△2, 668
有形固定資産の売却による収入	19	26
無形固定資産の取得による支出	△230	△25
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 0$	$\triangle 1$
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	-	△256
その他	△13	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 109	$\triangle 2,921$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	60	120
短期借入金の返済による支出	△60	$\triangle 124$
長期借入れによる収入	200	180
長期借入金の返済による支出	△831	△689
社債の償還による支出	$\triangle 24$	$\triangle 24$
自己株式の取得による支出	-	$\triangle 0$
配当金の支払額	$\triangle 372$	△386
その他	$\triangle 65$	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1, 093	△1,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	264	88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△815	△2, 500
現金及び現金同等物の期首残高	18, 199	15, 101
現金及び現金同等物の四半期末残高	17, 383	12,600
2	11,000	12,000

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

#### (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書
	物流事業	不動産事業	<del>=</del> +	(注) 1	計上額 (注) 2
営業収益					
外部顧客への営業収益	12, 980	1, 404	14, 384	-	14, 384
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	4	97	102	△102	-
計	12, 984	1, 502	14, 487	△102	14, 384
セグメント利益	645	488	1, 133	△642	491

- (注) 1. セグメント利益の調整額△642百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△643百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書
	物流事業	不動産事業	計	(注) 1	計上額 (注) 2
営業収益					
外部顧客への営業収益	14, 965	1, 401	16, 366	-	16, 366
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	92	95	△95	-
計	14, 968	1, 493	16, 462	△95	16, 366
セグメント利益	739	504	1, 243	△718	524

- (注) 1. セグメント利益の調整額△718百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△724百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、YSO Logi株式会社の株式取得に伴い、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、259百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。